

「公園マネジメント会議 第2回コア会議」結果概要

日時 令和元年11月7日(木)15:00～17:00

場所 愛知県芸術大学 デザイン棟 第1会議室

前回のふりかえり

(報告)

- ・第1回コア会議のふりかえりで、①公園マネジメント会議の意義の再確認 ②公園マネジメント会議の仕組みの現状等の確認 ③取り組むべき課題とルールブックの整理・充実の確認…について事務局より報告があった。

(質疑・意見交換)

- ・特に意見なし。

討議:(1)取り組む課題の確認

- ・第1回コア会議で確認した課題や第1回コア会議後にメールでいただいた問題点の内、今年度に取り組む課題、スケジュールについて確認し、承認された。

<取り組む課題の確認>

【課題1】分科会制度の見直し

【課題2】特権の取り扱いを再整理

【課題3】必要な情報の共有

【その他】個別又は今後取り組む課題

<スケジュールの更新>

第1回コア会議：会議の目的の再定義、現状の把握

第2回コア会議：【課題1_分科会制度の見直し】を協議し、解決策を決める

第3回コア会議：【課題2_特権の取り扱いを再整理】を協議し、解決策を決める

第2回 総会：コア会議での議論の状況の情報共有

第4回コア会議：ルールブックへの記載内容の決定(課題3の内容を盛り込む)

次年度 第1回総会：ルールブック改訂の承認

(質疑・意見交換)

- ・「課題」と「問題」の使い分けができていない。分科会制度の見直しや特権の取り扱いの再整理は、「課題」ではない。
 - 「課題」の設定の仕方や言葉の使い方も大切であるが、前回のコア会議から話しを進めていきたい。ある程度わかりやすい形で分類した上で、中身の議論していきたい。
 - ここで「課題」として上がっている内容について話すことは問題ない。

討議：(2)【課題：分科会制度の見直しについて】に対する解決策を協議する

- ・分科会制度の見直しについて、公園マネジメント会議が発足して10年間で28分科会が承認され活動してきた。分科会の現状をA～Dに分類し、企画ミーティングで問題毎の解決方針を協議して解決方針（案）が作成された。また、解決方針（案）に対する具体的な対応方法についても提案があった。
- ・【課題1】に対する解決策を協議する。

<分科会の問題と解決方針>

分類	分科会の状態	問題点	解決方針（案）
A	設立時に設定した目的を終えた分科会	分科会が活動を終了時の廃止方法がない	ルールブックに廃止ルールを追加する
B	新たな分科会に活動を引き継いだ分科会	分科会が活動を終了時の廃止方法がない	ルールブックに廃止ルールを追加する
C	活動が休止している分科会	(1) 代表者が活動時間が確保できず休止している	廃止する
		(2) 分科会とは別の方法で活動を行っている	廃止する
D	活動している分科会	各分科会の活動の有無や内容が分からない	活動報告を徹底する
		複数の団体に協力を求めたいがうまくいかない	活動内容をPRする

<解決方針（案）に対する具体的な対応方法>

A、B、Cに対して、ルールブックに廃止ルールを追加する

(質疑・意見交換)

- ・健康面等何らかの理由で継続できない分科会に対して、休止届制度の導入は必要ではないか。
 - もし休止を認めるならそこにもルールが必要になる。
 - 本来、分科会は複数のメンバーで構成されているので、個人の体調不良を理由に継続できないのはおかしい。どういった場合に休止の許可を出すのか、議論を呼びそうである。
 - 評価委員会等で現状を把握して判断する必要がある。
 - 他分科会の協力を得ることも可能なので、休止に至る前にコア会議に相談できるとよい。
 - 休止届だと届出なので出したら休止できることになる。そうではなくて、休止状態になってしまうことを申し出ることのできる仕組みにする。コア会議がその申し出を受けて、廃止とするか、別の体制をくんでやれないか協議する。
- ・廃止方法について、分科会代表者が廃止を申し出るもの。第三者（総会又はコア会議）の状況判断（評価）で廃止するもの。この2パターンが必要である。ルールブックにも追記が必要である。
 - 既存ルールブックは「活動終了時は全体会で成果報告する」となっており、分科会のサイクルとして、設置時の目的を達したら成果を報告して活動終了と考えていたと思う。現状のように、活



動が停滞していたり、活動状況が不明確なままの分科会は、想定していなかった。その2パターンで廃止できるルールを追記する必要がある。

→どこで廃止を承認するのか、明確に総会なりコア会議と記載した方がよい。

→成果報告の手順に、分科会の完了届及び廃止届といった文言も必要である。

- A、B、C (1) の分科会は廃止で異論はない。ただ、C (2) にあたる「人と感性を育む総合芸術分科会」はモリコロパーク春まつりで幼児文化芸術祭を開催している。設立1~2年で、分科会活動の実践の場として春まつりに誘導した経緯がある。分科会として皆さんの承認を得て、現在まで活動が続いているが、分科会廃止に伴い、公園で活動すべき団体としてのお墨付きが得られなくなると、場所を確保するための予約の上で不利になる可能性がある。(現在は体育館使用料が免除になっている。) 協議と実践の場が公園マネジメントの大目標なので、活動しにくくなるのは防ぎたい。C (2) に関しては、もう少し議論した上で、筋道を立てる必要がある。



→分科会であることをいいことに、特権を乱用していることにならないのか。

→幼児文化芸術祭を今年も8回目の開催を予定している。体育館でスポーツをするという目的以外に、体育館にはいろんな利用方法があるということを知ってもらうためのイベントを開催している。愛知県が主催する春まつりの一環でやっているのですが、単独の分科会活動ではないが、公園の多岐にわたる使用方法の紹介や春まつりという活動の宣伝としては役立ってきたと思う。

→分科会活動は、公園マネジメント会議がモリコロパークにとってやるべき活動である事を承認しているもの。会議で今まで支援されていたものが、分科会でなくなることで活動を狭めるのはおかしい。サポート体制を整理する必要がある。(特権という言葉とは違う)

→C (2) に関しては、取り扱いを少し整理した上で判断した方がよい。

→今日の会議で各分科会の廃止が決まるのではない。廃止のルールが必要なこと。廃止ルールや手続きをきめて。運営ルールブックに追加するための承認をとる必要がある。その上で、新たに作ったルールに則り、個々の分科会の廃止については議論して承認していくことになる。

- 現在活動している分科会と、それ以外の分科会を整理する必要がある。設置時だけ情報を共有しており、その後の状況が不明なままなのは良くない。

→「活動を終えた分科会」と「活動が休止している分科会」は意味合いが異なる。活動をまっとうした分科会は、公園マネジメント会議の実績として蓄えて行くべきもの。成果をルールブックの資料編などとして整理していく必要がある。

→A、Bは廃止で異論なし。Cは再考の余地はあるが、活動報告があれば継続していいのでは。提出がなければ廃止でいいのか。

→もっとはっきりとした方が良い。中途半端に整理するのではなく「今ある分科会は、今年度で、すべての分科会は一旦解散。必要な分科会は新規に申請する。」でどうか。

→そうですね。ルールを作るのと併せて、一旦きりをつけた方が良い。

- ・廃止の方法が決まっていないとか、そういう話をする前に、本来の活動報告がされていないことが問題なので、活動報告の提出を徹底することを総会の場で確認するようにしたい。

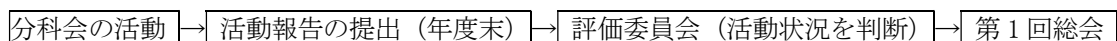
<解決方針（案）に対する具体的な対応方法>

活動報告を徹底することで情報の共有を図る

【取組1】既存ルールを徹底する

- ・運営ルールブックで決めている活動報告（年1回）を徹底する。
「活動の手引き」に活動計画書・活動報告書の様式を用いる。
- ・活動報告が提出されない分科会は、活動を休止していると判断して廃止する。
休止の判断は、評価委員会の評価内容とし、翌年の総会で承認を得る。

～イメージフロー～



(質疑・意見交換)

- ・【取組1】の「活動の手引き」は、マネジメント会議のHPに掲載して、活動計画書・活動報告書の様式を入手できるようにする。過去には、活動計画書・活動報告書を提出していたという話も聞くが、現在は一部の分科会から提出があっただけである。
→活動報告の徹底を図る必要がある。提出により分科会情報の共有もできる。
- ・イメージフローにある評価委員会は、報告書が出てくれば良いのか。内容を精査するのか。
→報告書は第4回コア会議の前に提出してもらい、第4回コア会議で内容を確認し精査するのが良いと思う。報告書だけでは判断しにくい部分があれば、それを受けて聞き取りなどもできる。
- ・既存にルールを徹底することが大切になる。

(協議結果)

- ・【取組1】の内容について、承認された。



【取組2】 活動内容をPRする

① PRする内容…分科会一覧、各分科会の活動内容、活動に伴う参加・協力の募集

②PRする方法

(案の1) 総会で活動報告として情報提供する。

(案の2) 地球市民交流センターにマネジメント会員の掲示板を設けて掲示する。

(案の3) マネジメント会議のHPに掲載する。

(質疑・意見交換)

- ・【取組2】 活動内容のPRについて、(案の1) (案の2) (案の3) すべて実施する。
- ・(案の1) 総会での情報提供は、分科会活性化プロジェクトとして1つの団体には話してもらっているが、今後は、全分科会から1言スピーチをもらって、活動内容を共有する機会があってもよい。その資料を、公園内に掲示して、HPに掲載するなどしていくと、活動内容が共有される。また、賛同しやすい環境になる。
- ・(案の2) 掲示板は資料の写真のような穴あきボードで考えているのか？それとも別格として新たなもののなか？

→別格でもいいと思うが、予算を確認する。

→既存の物と同じイメージのものを使うと紛れて目立たなくなるので、差別化できるものが良い。今あるものを使って、隙間に掲示するのはもっと避けたい。

→地球市民交流センターに一般の方はたくさんみえるが、マネジメント会議の会員は年に数回くらいしか来ないのでは？

→一般の来園者でもわかるように補足説明が必要である。インターネットの時代と言われていても、人が往来する場所に掲示板があり、内容のある掲示であれば、気がある人は見るので、一定の効果がある。

→会員相互の活動は以外に知らない。「〇〇さん、こんな活動しているんだ」と新たな発見に繋がるので良いと思う。



(協議結果)

- ・【取組2】の内容について、承認された。



会員情報(知っていましたか？〇〇)

(報告)

- ・「ピックアップ」より活動の報告があった。

(活動報告)

- ・今年の秋まつりで、イベント運営の方で携わらせてもらった。今までも春まつりに参加したり、色々な分科会さんと一緒に活動させていただいたが、ほぼほぼ隣の方が何をやっているかが、分からない状態だった。自分も知ろうと思わなかったこともあるけど。今回の秋まつりは運営に携わったことで、皆さんと交流させていただいて、何をされているか、どういう方たちが活動しているのかということ、本当に身をもって感じる事ができた。また、皆さんは感じているのかな？ということ、凄く思った。一緒におまつりや分科会でのイベントを行って、隣の人ともっともっと密になれば、公園利用者さんも、活動者さんも良い方向に向かって行くのではないかと感じている。
- ・ピックアップ（ヴァリエ株式会社）の活動は、美容室運営やサロンサポートの他に在宅・施設の訪問美容といった福祉にも携わっている。美容室で、今、凄く問題になっているのが、訪問カットや施設カットであり、寝たきりの方など訪問カットに行かせてもらおうと自分の年齢でかなり若手になる。担い手が高齢化している。
- ・他にも、美容室でやっている活動として、ヘアカラー剤容器のリサイクルをやっている。各美容室に協力いただき、使い終わった容器を回収させてもらっている。容器はアルミニウムでできているため、ヘアカラー剤容器専門のリサイクル業者（熊本の(株)MY・G・プロジェクト）に買い取りしてもらい、リサイクルの循環を作っている。
- ・回収されないヘアカラー剤容器は埋め立てとなるので、回収の取り組みを皆さんに知ってもらい、広めてもらいたい。「ヘアカラーチューブリサイクル」と検索すると(株)MY・G・プロジェクトという熊本県の会社が出てくる。協賛店に「ピックアップ」も掲載されている。



情報提供

(連絡)

- ・あいちサトラボ「収穫祭」の案内があった。

以上